



災害への備えについて

天気予報や気象情報に注意

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすい季節です。しかし台風や豪雨はある程度、進路や規模などを予測できるので、普段から気象情報に十分注意して、風や雨に対する対策を立てることが大切です。

気象や防災に関する情報はテレビやラジオのほか、以下のホームページなどからも入手できます。




防災情報全般
(警報・注意報/地震・津波/竜巻など)

北海道防災情報

<http://www.bousai-hokkaido.jp/>

<http://i.bousai-hokkaido.jp/>



雨量・水位情報

国土交通省
川の防災情報

<http://www.river.go.jp/>

<http://www.river.go.jp/s/>



気象情報

気象庁
札幌管区気象台

<http://www.jma.go.jp/jma/>

<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

土砂災害警戒情報

北海道河川砂防課

<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>

<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/sp/>



防災情報のランクについて

市町村が発令する避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報は、5段階に分かれています。

警戒レベル3や警戒レベル4が発令されたら、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

警戒レベル	取るべき避難行動	避難情報	防災基本情報
災害発生 警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報	氾濫発生情報 大雨特別警報 など
全員避難!! 警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示 (緊急)	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
高齢者等は避難! 警戒レベル 3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報 大雨・洪水警報
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	避難行動の確認 (自主避難)	洪水注意報 大雨注意報等
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

避難所には種類があります

広域避難場所

災害によって大規模な火災が発生したとき、そのふく射熱や煙から身を守ることができる場所です。この場所は火災による危険から一時的に避難するもので、災害による「避難勧告」や家屋倒壊等での避難場所(避難所)ではありません。

収容避難場所

災害時には、災害の種類や規模に応じて開設する避難所を決定します。開設した避難所は、順次緊急速報(エリア)メールや札幌市ホームページ、南区ホームページ、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

一時避難場所

避難者が一時的に避難する公園・広場・空地のことです。

地域避難所

一時的に避難者を収容する施設で、一定期間は基幹避難所に統合されます。

基幹避難所

自宅で生活できない・安全を確保できない人が、一定期間滞在して身体や生命を守る場所です。